

## 意見に対する対応

意見の性質、部門ごとに分類して対応を記述しています。また、直接教育ビジョンへの意見ではなく、教育行政そのものに関する意見等も含まれています。

### (共通)

#### 構成、記述について

- ・基本的な考え方の次に、各部門のメインなりを具体的にまとめたページがあった方がよい。
- ・あれもこれもでなく、焦点を絞ってはどうか。
- ・重点的なものを絞れば、インパクトのあるビジョンになるのではないか。
- ・項目が多すぎるので、もう少し焦点を絞るよう集約しても良いのではないか。
- ・もっとめりはりをつけ、方向性を明確にすべきである。
- ・欲張りすぎている感じを受ける。
- ・もう少しシンプルな方がよい。

A：本市教育行政全般にわたる今後の方針や重点的な取組を定めるためにビジョンを策定しているので、どうしても網羅的にならざるを得ないと考えています。各部門の方向性や重点的な事項については、《基本的な考え方とめざすべき方向》と《重点施策とその取組》に、それぞれ明示しています。

- ・これまでの取り組みと変わらないように思う。
- ・これまでと、今後の違いがわからない。

A：これまでも、秋田市の特色を生かしながら、様々な教育活動を展開してまいりましたが、本市の教育行政全般にわたる方針や取組を一つに取りまとめたものがなかったため、この度初めて、教育ビジョンとして策定したものです。

- ・一つの文章が長くて分かりにくい。
- ・もっと平易な読みやすい文章にしてほしい。

A：意図していることをわかりやすく、正確に伝えるため、文章を短くするなど全体の文章を見直しました。

- ・横文字、カタカナ言葉が多い。

A：専門的な用語には注釈を付けていますが、さらに注釈を増やしました。

- ・視覚に訴えるように、図表などを用いて分かりやすくすべきである。
- ・見出しの工夫など、要点を目立たせるべきである。

A：最終的に教育ビジョンとしてまとめる際に、図表や写真を用いるとともに、レイアウトも工夫をします。(最終版は、改めてホームページに掲載します。)

- ・段階的到達目標や数値の比較など、明確な記述をすべきである。また、活性化や強

化という言葉の意味がよくわからない。

A：第11次秋田市総合計画の期間計画（平成19年度から平成21年度までの計画）では、教育部門においても、事業の進捗率や施設利用者の増加などを指標とした数値目標を設定している施策等がありますが、教育ビジョンは今後のめざすべき方向や基本的な方針、取組を整理、集約することに主眼を置いていますので、数値による目標を設定していません。文章、文言については、意図していることをわかりやすく、正確に伝えるため、全体の文章を見直しました。

### 実効性について

- ・教育ビジョンが良い方向に向かっていくために、具体的な事業はあるのか。
- ・内容が具体的でなく、現状の検証をしていないため、分かりにくい。
- ・具体的な事例が少ない。
- ・全体予算が削減されている中で、どのように進めていくのか。
- ・どの程度実行できるのか気になる。
- ・実効性を高めてほしい。
- ・お題目だけで終わらないようにしてほしい。
- ・成果を検証する内容について、もう少し具体的な記述が必要ではないか。

A：教育ビジョンは今後のめざすべき方向や基本的な方針、取組を整理、集約することに主眼を置いていますので、個別の事務、事業については、あえて記述していません。ビジョンに基づく具体的な事務、事業の実施内容については、毎年度、実施計画を策定してまいります。

- ・「いつ」「だれが」「どのように」進めるのが不明確であり、現場においてどのような進め方を考えているのかよく分からない。特に学校現場では、より多くの負担がかかるように思う。

A：学校をはじめとする現場での負担が増すことがないように、十分配慮します。

- ・どのような手順で推し進めていくのか、その方法が見えない。

A：ビジョンで定めた基本方針や取組を着実に進めるよう、毎年度、事務、事業の内容を精査するとともに、その執行体制を整えていきます。

- ・国や県との連携がうまくいくのか。

A：これまでどおり、国や県との密接な連携のもとで、着実に教育行政を展開してまいります。

### 部門の連携について

- ・家庭、地域、学校の力を結集して夢や希望のもてる秋田の子どもたちが育ってほしい。
- ・子どもの教育は、学校、地域、家庭の協力のもとで実現できると思う。また、早い

うちから、社会の仕事はどのようなものがあるかを知らせるべき。

- ・地域、家庭、学校等の環境に問題があれば、豊かな心の人間が育たない。

A：今後の教育行政の展開にあたり、家庭、地域、学校の力の連携、教育の各部門の連携が大変重要な視点でありますので、【秋田市教育ビジョンの基本的な考え方】に、この連携に関する記述を加えました。

### 親の教育について

- ・豊かな心は親が育てるものではないか。
- ・親の教育が必要である。
- ・子どもを育てる親の教育、しつけが重要である。
- ・親の教育を重視すべきである。

A：近年の社会において、家庭における教育力、親の教育力の低下が懸念され、こうした教育力を高める必要があると指摘されています。家庭における教育力、親の教育力を高めるためには、様々な教育活動ばかりでなく、社会全体での取組が必要な大きな課題であるので、【秋田市教育ビジョンの基本的な考え方】に、家庭の教育力の低下に関する記述を加え、その重要性を示すことにしました。

### (その他)

- ・なぜ自殺者が全国ワーストワンなのかなど、もっと県内の社会状況などを見極めたうえで、秋田なりの方向性を考えるべきではないか。

A：社会状況等を十分見極めながら、この教育ビジョンに基づき、事務、事業を実施してまいります。

- ・人づくりという考えには賛成だが、活躍できる「場」と「機会」をつくってほしい。

A：市全体で取り組んでまいりたいと考えます。

- ・各地区に公共施設があるが、それぞれの施設における教育や活動を線として結びつけたらどうか。(動物園も加えてほしい。)

A：学校教育においては、動物園を活用した事業を実施していますし、図書館や公民館、文化施設などのネットワーク化も重要な取組としてビジョンに盛り込んでいます。公共施設全体の利活用については、市全体の課題として検討していく必要があると考えています。

- ・もっと年代ごとの教育を考えてはどうか。

A：ご意見を参考に、公民館での講座内容等を検討してまいります。

- ・様々な教育活動の充実のためには、新たな施設を建設をするのではなく、今ある施設(学校の余裕教室やコミュニティセンターなど)の施設の有効利用について工夫すべきである。

A：今後も、所管する施設を有効利用する手法を検討してまいります。

・もっと力強さが必要である。秋田市を文化、教育の面で一番にするくらいの熱意を盛り込んでほしい。

A：そうした熱意をもって教育ビジョンの策定に取り組んだものであり、あいまいな表現などを検証し、考え方などが率直に伝わるよう全体の表現を見直しました。

## (学校教育部門)

・幼保小の連携は良いことだが、幼保を学校の予備校的な場にしてほしくない。

A：秋田市では、幼稚園・保育所から小学校へとスムーズな適応ができるよう、連続性のある指導につとめたいと考えています。

・福祉教育の充実にもっと重点を置いてほしい。

A：福祉教育の重要性を考え、重点施策の一項目として盛り込んでおり、この教育ビジョンに基づき、具体的な学習活動に取り組んでまいります。

・問題解決的な学習の充実とはどういうことか。社会モラル(道徳)、情報モラル、言語力が必要ではないか。(保護者も)

A：問題解決的な学習とは、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる学習」のことであり、新たに注釈を設けました。様々なモラル教育や言語力については、学校教育部門に盛り込んでいる重点施策「豊かな人間性をはぐくむ教育活動の充実」および「確かな学力を育てる学習指導の充実」に基づき、具体的な学習活動に取り組んでまいります。

・ごみを捨てないとか、給食費の滞納に対して、モラル教育や税金に関する教育も大切であり、組み入れることはできないか。

A：学校教育部門に盛り込んでいる重点施策「豊かな人間性をはぐくむ教育活動の充実」に基づき、具体的な学習活動に取り組んでまいります。

・子どもたちに嘘をつかない教育をお願いしたい。

A：学校教育部門に盛り込んでいる重点施策「豊かな人間性をはぐくむ教育活動の充実」に基づき、具体的な学習活動に取り組んでまいります。

・「いつ」「だれが」「どのように」進めるのか不明確であり、現場においてどのような進め方を考えているのかよく分からない。特に学校現場では、より多くの負担がかかるように思う。(再掲)

A：学校をはじめとする現場での負担が増すことがないよう、十分配慮します。

・「郷土秋田」をより広く、深く理解し、秋田の将来に貢献できる人づくりをし、互いの信頼をベースに絆を大切にし、人口の流出防止に努力する教育をしてほしい。

A：郷土秋田への理解を深める学習については、重点施策の一つとして盛り込んでいるところであり、これに基づき、具体的な学習活動に取り組んでまいります。また、互いの信頼や絆を大切にする教育については、互いに認め合う「共生」の心を育成していくことを、《基本的な考え方とめざすべき方向》に盛り込んでいます。

- ・ P T A 活動の充実や P T A への指導を盛り込むべきである。
- ・ P T A などとの連携に努めてほしい。

A：《重点施策とその取組》の小・中学校教育の充実の、信頼関係を深める「人と人との絆づくり」の推進の項目の中で、「学校と家庭が協力し合う機会」「学校と地域との絆を深める機会」の充実に取り組むことを盛り込んでおり、このことに基づき、具体的な活動に取り組んでまいります。

- ・「互いに認め合う「共生」の心と態度」は、もっと積極的に「相手の気持ちを想像して思いやる能力の向上」としてはどうか。

A：ご意見に基づき、記述を見直しました。

- ・中学校の部活動の充実については、秋田の部活は行きすぎ、やりすぎとの批判が多いので、むしろ見直す方向を示してほしい。

A：部活動については、却って心身の健康を損なうことなどがないよう、学校への適切な指導につとめてまいります。

- ・人間の食を支えているのは、農業であり、農業に関する体験学習、校外学習等を行うべきである。

A：農業の重要性に関する学習活動については、各学校で様々に取り組んでいるところであります。

- ・心のこもった食生活、愛情の行き届く、食育が重要である。

A：食育は、大変重要な教育活動であると考えています。したがって、「体力の向上と健康の保持増進をはかる教育活動の充実」に、食育に関する取組を盛り込んでいます。

- ・秋田は自殺者が全国ワーストであり、幼児から大学生まで、発達段階に応じた、生命についての学習や学びの機会を増やすことを盛り込んだら良い。大森山動物園を活用してはどうか。

A：生命や人間を尊重する視点から、発達段階に応じた性教育の推進を教育ビジョンに盛り込んでいます。また、自殺予防対策に関しては、全市的な取り組みを進めています。大森山動物園の活用については、現在、各学校において取り組んでいるところであります。

## （社会教育部門）

- ・地域社会内での相互学習という視点が抜けている。

A：「学習成果の評価と活用」の項目に、市民の「学び」の成果を地域社会の活性化につなげていくことを記述しており、市民相互の学習という意味合いを含めています。

- ・もっと年代ごとの教育を考えてはどうか。（再掲）

A：ご意見を参考に、公民館での講座内容等を検討してまいります。

- ・秋田は自殺者が全国ワーストであり、幼児から大学生まで、発達段階に応じた、生命についての学習や学びの機会を増やすことを盛り込んだら良い。大森山動物園を活用してはどうか。（再掲）

A：生命や人間を尊重する視点から、発達段階に応じた性教育の推進を教育ビジョンに盛り込んでいます。また、自殺予防対策に関しては、全市的な取り組みを進めています。大森山動物園の活用については、現在、各学校において取り組んでいるところであります。

- ・様々な教育活動の充実のためには、新たな施設を建設をするのではなく、今ある施設（学校の余裕教室やコミュニティセンターなど）の施設の有効利用について工夫すべきである。（再掲）

A：今後も、所管する施設を有効利用する手法を検討してまいります。

## （スポーツ振興部門）

- ・スポーツ振興、文化振興などは教育ビジョンに違和感がある。

A：この教育ビジョンは、秋田市教育委員会が所管する教育行政全体に関する基本方針等を定めるものでありますので、スポーツ振興、文化振興についても、盛り込んでいます。

- ・スポーツ振興について、自然を活用したアウトドアスポーツの振興をはかるべきである。
- ・子どもたちが雪を楽しむようなスポーツイベントを充実できないか。

A：秋田市ならではの自然や風土を活かしたスポーツ振興について、教育ビジョンに基づく具体的な事業の精査の中で検討してまいります。

- ・スポーツ振興について、指導者や推進員等の育成も必要である。

A：指導者や推進員等の育成は重要な取組と考えていますので、スポーツ振興の大きな柱として「指導者の育成」を盛り込んでいます。

・スポーツ振興の基本方針（スローガン）について、静かなスポーツもあるので、「はずむ」という言葉はどうかと思う。

A：スポーツの種類によらず、スポーツを楽しむことによって、心身の活力が生まれ、心が弾むことを含め表現したものです。

・秋田県中央地区広域スポーツセンターはどういう施設か。中央以外も充実させてほしい。

A：秋田県中央地区広域スポーツセンターは、県の施設で、県内における総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動とともに、地域におけるスポーツ活動全般について、効率的な支援を行う役割を担うものです。県北（能代市）、中央（秋田市）、県南（横手市）の3カ所に設置されています。

### （文化振興部門）

・スポーツ振興、文化振興などは教育ビジョンに違和感がある。（再掲）

A：この教育ビジョンは、秋田市教育委員会が所管する教育行政全体に関する基本方針等を定めるものでありますので、スポーツ振興、文化振興についても、盛り込んでいます。

・文化振興について、わらび座と連携し、市内での公演を行い、文化意識の向上を狙ってはどうか。そのためのホールと駐車場を整備し、秋田駅前の活性化につなげてはどうか。

A：秋田駅前、中央街区の活性化については、全市的な課題として取り組んでいます。

### （教育環境整備部門）

・教育環境整備部門が各部門と重複している。

A：教育環境整備部門は、他の部門を支える部門でありますので、その重点施策については、重複をあえて避けて盛り込んでいます。

・学校給食は全て地場産物を使用する計画を立案すべきである。

A：現実的な対応として、学校給食への地場産物の積極的な活用について、盛り込んでいます。

・テレビ、ラジオを通じた「不審者情報の周知」や、緊急時に対応できる父の会の結成、「表に出てください」コールなどの具体的な対応を考えてほしい。

A：児童生徒の安全確保策については、さらに検討を進めます。



